

施策評価の実施結果について

1 施策評価の概要および目的

(1) 概要

本区の行政評価は、「豊島区基本計画 2016－2025」に掲げる各施策の目標と取組みについて、その進捗状況を管理するため、施策ごとに設定した指標により、その実効性を図ろうとするものである。

平成 29 年度から、基本計画の進捗管理等を目的とした行政評価（以下「施策評価」という）と従来からの「事務事業評価」を組み合わせた二階層による評価を実施し、本年度は施策評価実施の 3 年目となる。

(2) 目的

①基本計画の進捗管理

施策評価は、基本計画に掲げる施策ごとにその設定された成果指標を基準に、進捗状況を管理・検証する。

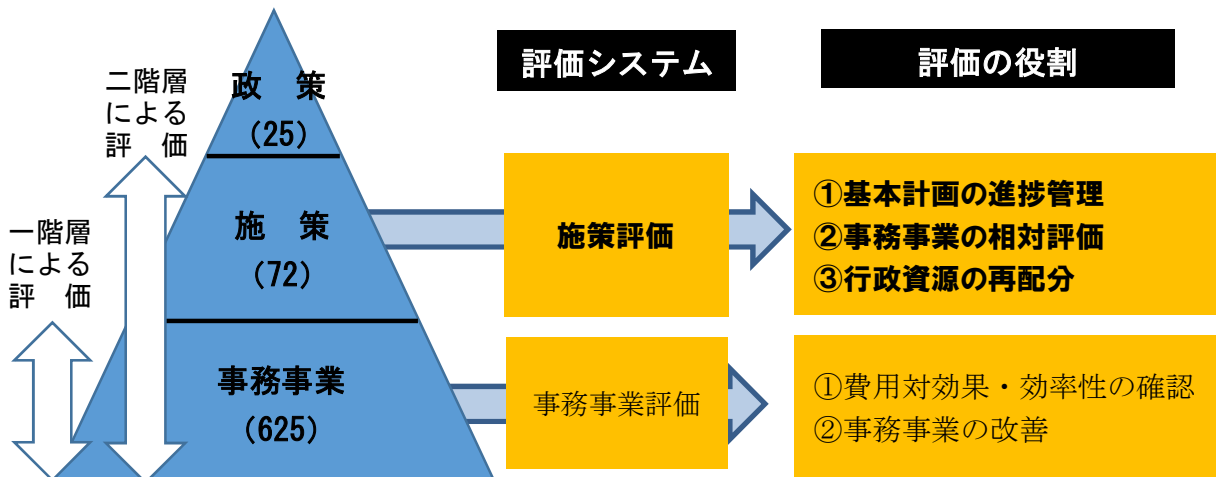
②事務事業の相対評価

各事務事業が施策の目標達成にどの程度貢献しているか（施策貢献度）を分析するため、施策に属する事務事業の相対評価を行う。

③行政資源の再配分

①および②の評価結果を踏まえ、施策目標達成に向けた今後の事業の方向性を示すとともに、その方向性を経営資源の適正な配分に活用する。

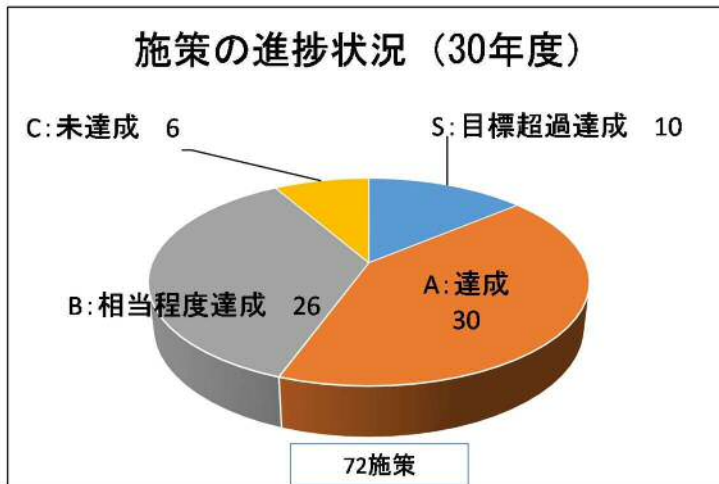
【参考：二層による行政評価の概念図】



2 施策評価の結果

【施策の進捗状況】

全72施策について設定した指標に基づき施策の進捗状況を測定した結果は、下図のとおり。



達成状況	指標達成度
S：目標超過達成	130%以上
A：達成	100～130%未満
B：相当程度達成	70～100%未満
C：未達成	40～70%未満
D：大きく未達成	0～40%未満

3 外部評価について

（1）外部評価の目的

- 外部評価委員の専門的知見からチェックを加え、区が実施した内部評価結果の妥当性について、評価の客観性を確保する。
- 上記と同様に、評価手法等について外部評価委員の知見を活用し、改善を図る。

（2）外部評価の開催

スケジュール		内容
第1回	7月22日（月）	・外部評価対象施策の選定（2施策） ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況報告
第2回	9月5日（木）	・外部評価（1回目）：1施策 「道路・橋梁の整備と維持保全」（土木担当部）
第3回	9月30日（月）	・外部評価（2回目）：1施策 「外国人住民とのコミュニティの形成・促進」（政策経営部）
第4回	11月7日（木）	・評価結果と課題整理 ・基本計画（後期）の検討に向けた意見

（3）外部評価の内容

72施策のうち、これまで外部評価未実施の部局（政策経営部、土木担当部）から、目標の達成状況、重点施策の観点により以下の2施策を選定し、外部評価を実施した。

① 外国人住民とのコミュニティの形成・促進（施策2-1-2）

選定理由）目標の達成状況が「大きく超過達成」

目 標	国籍や人種などを問わず、共に暮らす区民として、地域コミュニティを創っていくための環境を整備します。					
指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「地域で外国人と交流がある」について、肯定的な回答をする区民の割合【%】	目標値	6.8	7.1	7.4	7.7	8.0
	実績値	10.4	13.5	13.0		
	達成率	152.9%	190.1%	175.7%	—	—
	達成状況	S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成		
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由				
地域において日本人と外国人がどの程度交流しているのかを示す指標であるため						

主な指摘事項)

- ・基本計画策定時に設定した目標について、「大きく超過達成」との評価に至る理由は、指標そのもの設定の仕方に不十分さが認められるため、次期基本計画において、指標の精査を行うべきである。
- ・区民意識調査は、日本人の視点に立った設問が多いため、外国籍の方の意識を把握することが難しい。区民相談や意見を聴く機会の中で、意向や要望を拾い、施策に反映できるとよい。
- ・現基本計画は、「多文化共生推進基本方針」が反映されていないので、次期策定時にその取り組み内容や指標の設定を検討されたい。

② 道路・橋梁の整備と維持保全（施策 6-3-2）

選定理由) 重点施策

目 標	安全・快適で地域の価値を高める道路整備を進めていきます。					
指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管理橋梁の健全度 A (※1)の割合【%】	目標値	70	85	85	85	90
	実績値	85	85	85		
	達成率	121.4%	100.0%	100.0%	—	—
	達成状況	A:達成	A:達成	A:達成		
指標重要度の割合(%) (※2)	50	指標設定理由				
道路・橋梁が適切に維持管理されていることを示す指標のため						
指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
遮熱性舗装を実施した累計面積【㎡】	目標値	23,000	25,500	33,000	34,000	35,000
	実績値	27,650	30,951	31,744		
	達成率	120.2%	121.4%	96.2%	—	—
	達成状況	A:達成	A:達成	B:相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由				
道路インフラを活用したヒートアイランド対策は、都市環境の向上を図る非常に有効な手法なため指標として設定した。						
平成30年度達成状況	98.1%					

(※1) 橋梁点検要領に基づいて定期点検を行った結果、損傷が特に認められない状態 (A) のこと

(※2) 施策目標に及ぼす影響度の割合

主な指摘事項)

- ・ 2つの指標の重要度割合が 50 : 50 になっている。橋梁の健全度は人命に関わるため、遮熱性舗装の累積面積より重要度の割合を高くした方がいい。
- ・ 施策や事務事業をカバーできる指標の設定を検討されたい。
- ・ インフラ整備は、必要性・有効性・利便性・安全性など幅広い観点から評価が可能なところ、指標の設定が難しい。区民満足度で測ることも方法の 1 つとして検討されたい。

(4) 2 施策に共通する指摘事項

① 指標について

- ・ 施策の達成度を測る指標になっているかなど指標の見直し、精査をされたい。

② 行政評価（施策評価）について

- ・ 自治体の施策は、PDC Aサイクルを回すことにより改善が図られていくものである。施策の変化を見える化することも説明責任を果たすことになる。施策の変化がわかる仕組みを構築してほしい。
- ・ 設定された指標のみで達成状況を測ることは難しい。後期基本計画では指標設定の背景や目標値の設定根拠等を記載することも検討されたい。

③ 評価結果について

- ・ 区が実施した評価の内容については概ね妥当である。

4 基本計画（後期）の検討に向けて、委員会で出された主な意見

- ・ 基本計画策定後に社会情勢や法改正等があったため、現状と合わない施策がある。改定に向けて、施策目標の見直しを検討されたい。
- ・ 社会情勢の変化等も著しいため、基本計画の期間についても検討されたい。
- ・ 施策の指標として、事務事業レベルの指標を設定しているものがあるため、見直しを検討されたい。
- ・ 施策の達成度を測る指標や補助指標（基本計画の指標を補完するため、施策評価表で設定した指標）は、施策目標に対する達成度を測れるように見直し、再設定等を検討されたい。